

# 埼玉県・桶川市総合防災訓練を実施します

## 第36回九都県市合同防災訓練 埼玉県会場

8月30日(日)～9月5日(土)までの「防災週間」にあわせ、埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市が連携して行う「九都県市合同防災訓練 埼玉県会場」が桶川市で実施されます。

この訓練は、M8.1の地震(震度7)を想定し、埼玉県、桶川市、消防、警察、自衛隊などの防災関係機関、桶川市消防団、桶川市自主防災組織、桶川市赤十字奉仕団など地域の皆さん、災害時応援協定都市や事業所などが参加して行う桶川市で初めての大規模な実践的訓練です。ぜひ会場へお越しください。

### 主な訓練項目

**とき**▼8月30日(日)午前9時～正午(防災フェアは午後1時まで)  
※雨天決行(台風などで被害が発生する恐れがある場合は中止します。)

**ところ**▼城山公園(中央会場)、ほか市内各所※1

**駐車場**▼川田谷小学校、桶川西中学校および桶川西高校を駐車場として開放します。  
※訓練当日は、訓練実施に伴い川田谷生涯学習センターを終日休館します。

一般駐車場) ③川田谷小学校(一般駐車場)・桶川西中学校(一般駐車場)・城山公園(訓練会場)

### シャトルバスを運行します

訓練当日、午前8時から次の各所より無料シャトルバスを運行します。  
①桶川駅西口、②桶川西高校(一

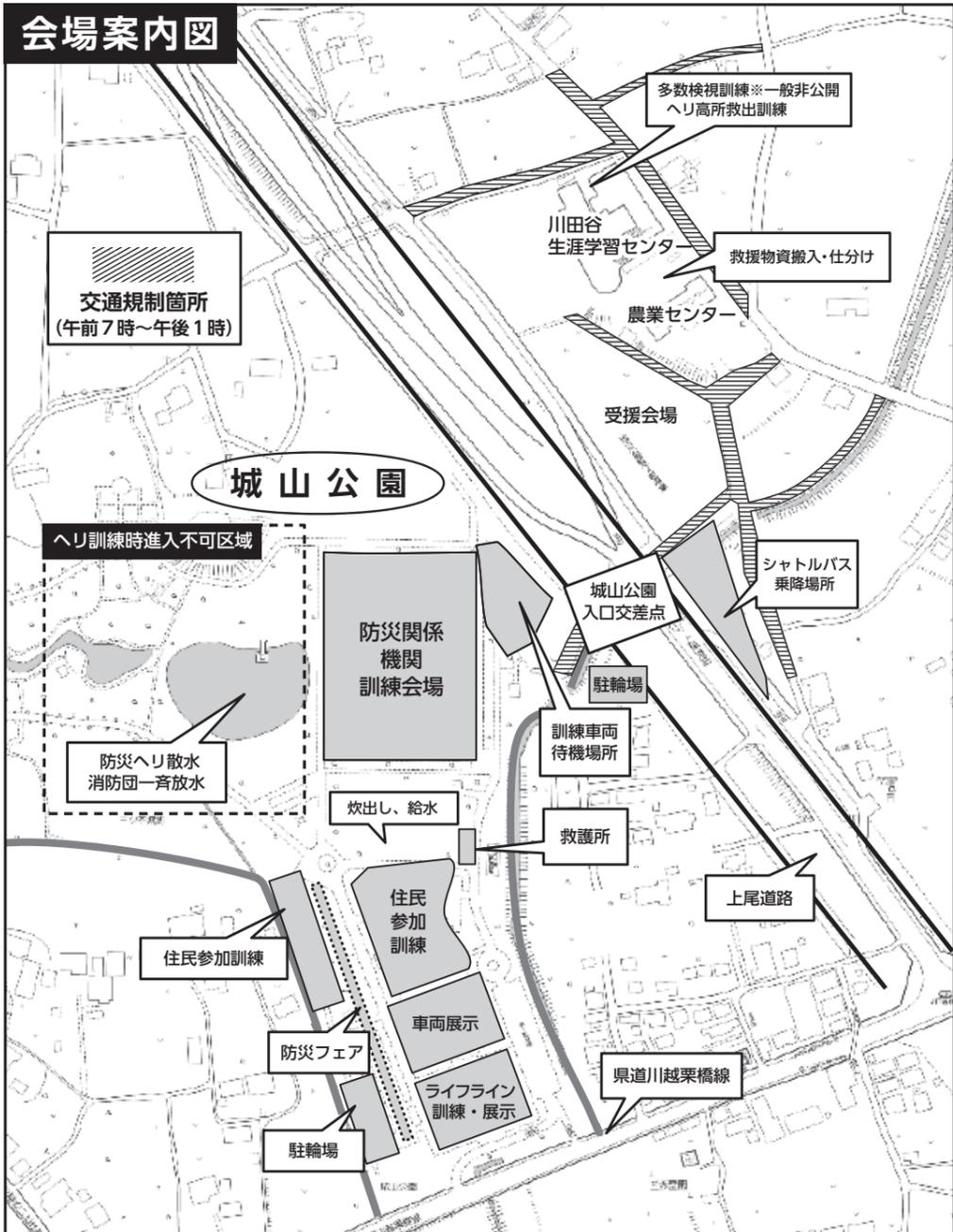
防火訓練の一環として、8月30日(日)午前9時にサイレンを吹鳴します。災害と間違えないようご注意ください。  
【お願い】  
○訓練に参加する場合は、水分補給や日陰での休憩など、熱中症にこ

### サイレンを吹鳴します

注意ください。  
○駐車場には限りがありますので、できるだけ徒歩または自転車でお越しください。  
○訓練の実施にあたり、農業センター周辺では一部交通規制が行わ

れます。迂回路をご利用ください。  
○訓練のためヘリコプターを使用します。周辺への騒音・強風などが予想されます。近隣の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

※1  
その他の市内各所では、関係機関の協力のもと、帰宅困難者対策訓練、福祉避難所開設運営訓練などを実施します。



### 住民が参加できる訓練

- 初期救出訓練  
瓦礫から負傷者を救出する訓練
- AED取扱い訓練  
心肺蘇生とAEDの取扱い訓練
- 地震体験訓練  
起震車を使用した地震の体験訓練

### 防災関係機関などによる訓練

- 倒壊建物救出訓練  
倒壊した建物から資機材を使用し、要救助者を救出する訓練
- 航空機による高所救出訓練  
ヘリコプターを使用した高所からの救出訓練
- 火災防衛訓練  
地上からは消防団のポンプ車が、上空からは防災ヘリが一斉に放水し、鎮火する訓練
- ライフライン復旧訓練  
および防災展示  
電気・ガス・水道・電話などの復旧訓練および展示
- 炊出し訓練  
自衛隊・桶川市赤十字奉仕団などによる炊出し訓練



詳しくは安心安全課

### 家庭でもシェイクアウト訓練を

安全行動の1-2-3

- 1 DROP!** ドロップ!
- 2 COVER!** カバー!
- 3 HOLD ON!** ホールドオン!

【まず低く!】 【頭を守り!】 【動かない!】

訓練では、地震発生時に身を守るため、①～③の安全確保行動を行います。午前9時の防災行政無線によるサイレンを合図に自宅などで訓練への参加をお願いします。(所要時間は1分程度です。)

### 防災フェア

城山公園内では、埼玉県・桶川市の災害時応援協定締結企業などによる防災体験コーナーや防災に関する取組みを紹介します。

# 道路 河川 をきれいにしましょう!!



市では活動していただける団体を応援しています

桶川市では、生活に身近な道路や河川に対して、道路・河川への愛護意識の一層の高揚と、良好な道路・河川環境の維持保全に資することを目的として、市民の皆さんに清掃や除草活動のご協力をいただいております。

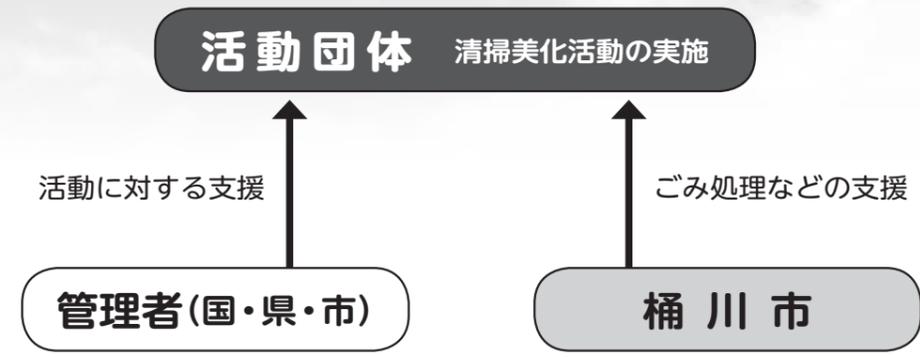
今後も、快適で住みやすい環境づくりをめざして、自治会や愛護団体などによるボランティアでの美化活動を応援しています。

活動団体になっていただきますと、管理者（国・県・市）と桶川市が皆さんの活動をバックアップいたします。

活動してみたい方や、活動に興味のある方は、お問い合わせください。

詳しくは☞道路河川課

## 支援活動のイメージ



## 「河川」での活動団体紹介

- ★桶川楽郷の会（川田谷地内・石川川）  
活動内容：除草、清掃など
- ★篠津赤堀川桜堤管理組合（篠津地内・赤堀川）  
活動内容：除草、清掃、剪定など
- ★下日出谷江川清流会（川田谷地内・江川）  
活動内容：草刈、清掃など
- ★日水産業株式会社 関東事業所（川田谷地内・江川）  
活動内容：清掃など
- ★ボーイスカウト桶川第1団（川田谷地内・江川）  
活動内容：ゴミ拾い、水辺の生き物観察

## ～道路の活動状況～

## ～河川の活動状況～

市道5515号線「坂田東三丁目・宮前西自治会」▶

### 「道路」での活動団体紹介

- ★坂田東一丁目自治会（坂田地内・市道5515号線外）  
活動内容：除草、清掃など
- ★坂田東二丁目自治会（坂田地内・市道6-3号線外）  
活動内容：除草、清掃など
- ★坂田東三丁目・宮前西自治会  
（坂田地内・市道5515号線外）  
活動内容：植栽、除草、清掃など
- ★ナルク埼玉中央（若宮一丁目地内・市道57-2号線）  
活動内容：除草、清掃など
- ★花みずきの会（上日出谷地内・市道1-4号線）  
活動内容：除草、清掃など
- ★ハッピーサポート（桶川市内・国道17号）  
活動内容：除草、清掃など
- ★ホットロード（桶川市内・国道17号）  
活動内容：除草、清掃など
- ★その他一団体



市道5515号線「坂田東一丁目自治会」▶



▲石川川「桶川楽郷の会」



▲江川「下日出谷江川清流会」

## 住みよいふるさとみんなで守ろう!

桶川市内には、道路や川の除草、清掃などのボランティア活動を行っている人たちがたくさんいます。道路や川・水路にごみを捨てたりするのはやめましょう。みんなで気持ち良く生活できるよう、市民の皆さま一人ひとりのご協力をお願いします。



公益財団法人けやき文化財団主催

◎「祝・敬老 歌謡ショー」

と き▶ 9月6日(日)の部 午前11時開演 (開場:午前10時)  
9月13日(日)の部 午前11時開演 (開場:午前10時)

ところ▶ 東公民館(6日)  
川田谷生涯学習センター(13日)  
※全席自由席、無料

問合せ▶市民ホール☎789-1113



◎「べに花ふるさと館」の食事割引き

内 容▶ うどん、そばを75歳以上の人は半額、88歳以上の人は無料  
期 間▶ 9月1日(火)~30日(水)午前11時~午後3時 (注文は午後2時まで)  
※日曜日は混雑しますので、なるべく平日の利用をお願いします。  
※月曜日は休館。21日(月・祝)は開館となります。

利用方法▶ 8月下旬に郵送される「食事券(はがき)」を提示してください。  
※期間中1回限定・本人のみ有効

問合せ▶べに花ふるさと館☎729-1611



「長寿を祝して」



9月敬老事業のご案内

詳しくは▶高齢介護課

9月21日の敬老の日を迎えるにあたり、長年にわたり社会に貢献され、また桶川市を温かく見守り、育てていただいた皆様に心から感謝し、お祝い申し上げます。

わが国の平均寿命も延び、国際的にも長寿国の一員となっております。これもひとえに皆様方の日ごろの健康管理へのご努力と、医療の進歩が要因に挙げられます。

そうした高齢者の方お一人おひとりが、これまでの豊富な知識と経験を活かし、健康で充実した生活が送れますよう、また生涯にわたって生きがいを持ち、安心して暮らすことができますよう、ご祈念申し上げます。9月の敬老事業をご案内します。

敬老祝金の贈呈 ※満年齢は、平成27年度内に迎える年齢となります。

対象者の年齢	支給金額	贈呈方法
満80歳、88歳、90歳、99歳 および101歳以上	10,000円	80歳、88歳、90歳、99歳は民生委員を通じて、 101歳以上は市から直接、9月下旬に贈呈予定 ※施設入所、不在がちなどで振込を希望する人は 8月20日頃までに担当課へご連絡ください。
満100歳	100,000円	市から直接、誕生月に贈呈

市内循環バス「べにはなGO」の無料乗車

対象▶ 75歳以上の人  
利用期間▶ 9月1日(火)~30日(水)  
利用方法▶ 8月下旬に郵送される「バス無料乗車券(はがき)」を提示してください。  
詳しくは▶高齢介護課

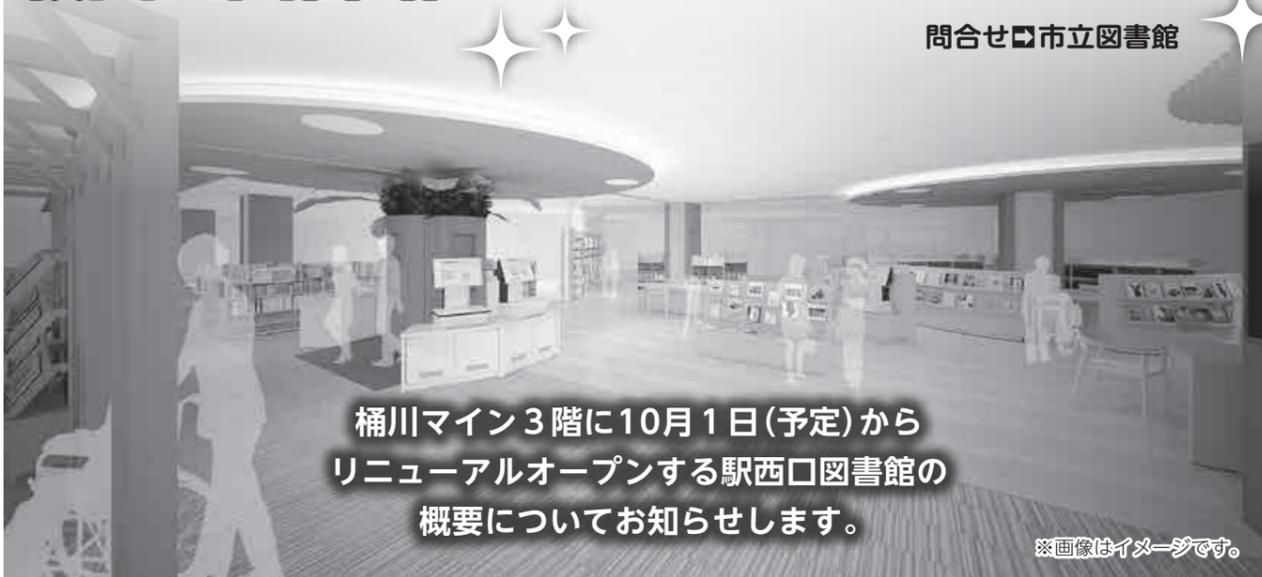


地域等敬老事業助成金

自治会や地域などが行う敬老事業に対して、その事業費の助成を行います。  
詳しくは▶高齢介護課

駅西口図書館がリニューアルオープンします

問合せ▶市立図書館



桶川マイン3階に10月1日(予定)から  
リニューアルオープンする駅西口図書館の  
概要についてお知らせします。

※画像はイメージです。

開館時間▶ 午前10時~午後9時  
休館日▶ 1月1日~3日および館内特別整理期間  
施設面積▶ 約1,511㎡(旧駅西口図書館608㎡)  
閲覧席数▶ 約120席(旧駅西口図書館34席)  
◎一般開架コーナー: 約80席  
◎児童図書コーナー: 約40席

新たに導入する主なサービス▶  
◎自動貸出機  
◎音楽配信サービス  
◎電子図書  
◎ブックシャワー(図書の消毒機)など

老人福祉センター事業

申込み・問合せ▶老人福祉センター

老人福祉センターにお越しください!

◎「お楽しみ風呂(ひのき湯)」

と き▶ 9月20日(日)、21日(月・祝)

◎「敬老福引大会」

と き▶ 9月21日(月・祝) 午前10時開始  
【福引券配布】9月1日(火)午前9時から  
対 象▶ 老人福祉センター利用者

◎「カラオケ発表会」

と き▶ 9月25日(金) 午前10時開始  
対 象▶ 市内在住の60歳以上  
申込み▶ 8月31日(月)午前9時から ※先着60名

◎「うどん号」

と き▶ 9月1日(火)、16日(水)  
午前11時15分出発  
※老人福祉センターから、べに花ふるさと館へ往復送迎バスを運行します。



# 『平和を考える10日間』

(8月6日～15日)

詳しくは自治文化課

わたしたちにとって忘れることのできない8月。広島と長崎に人類初の原子爆弾が投下され、悲惨な戦争が終わったあの8月から70年の歳月が流れようとしています。

市では、過去の悲惨な戦争を振り返り、平和への願いを次の世代に伝えていくことを目的に、昭和57年から、毎年8月6日～15日の期間を「平和を考える10日間」として、平和をテーマにした、さまざまな事業を行ってきました。

今年は、戦後70年を迎えることから、市民との協働事業や小・中学生からも折鶴や標語を募集するなど、より幅広い年代の人に平和について考えていただけるよう、次の事業を行います。

## ■「平和を考える10日間」の事業

事業名	とき	ところ	内容
戦後70年 平和を守り・語り継ぐ	6月20日(土) 21日(日)	さいたま文学館 文学ホール	平成27年度桶川市協働推進提案事業として、市民団体と市の協働によるイベントを開催しました。
平和の折鶴と標語募集	募集期間 6月15日(月) ～7月10日(金)	市役所、公民館、 小・中学校など	平和を祈願した折鶴と標語を市民から募集し、折鶴は広島・長崎両市に贈り、標語は市役所に掲示します。 また、今年は、戦後70年特別事業として、市内小学生に折鶴、中学生に標語の募集をしました。
ピースキャラバン	7月7日(火) 9日(木)	桶川中学校 桶川東中学校	埼玉県平和資料館の学芸員による実物資料などを使った出前講座を実施しました。
平和を考える写真・ 資料の展示	8月1日(土) ～15日(土)	駅構内 見る観るコーナー (駅構内)	横断幕を掲出します。 戦災や平和に関する写真や資料を展示します。
平和のキャンペーン	8月6日(木)	桶川駅周辺	市議会議員の皆さんと市職員が平和事業啓発チラシなどを配布する街頭キャンペーンを実施し、「恒久平和」を広く市民に呼びかけます。
サイレン吹鳴	①8月6日(木) 午前8時15分 ②8月9日(日) 午前11時2分 ③8月15日(土) 正午	市内	①広島原爆投下時刻 ②長崎原爆投下時刻 ③終戦記念日 の3回に分けてサイレンを吹鳴します。
親子平和資料館 バス見学会	8月11日(火)	埼玉県平和資料館 など	市内在住、在学の小～中学生までの親子25人を募集し、埼玉県平和資料館を見学します。 【募集は終了しました】
平和図書コーナー	8月6日(木) ～15日(土) ※ただし8月10日(月) は休館日	市立図書館	図書館所蔵の平和関係図書の展示と、貸出コーナーを設置します。
戦争体験記頒布	随時	自治文化課	昭和62年から平成18年の間に市民の皆さんから寄せられた体験記を頒布しています。 ①いのちの伝言(500円) ②続いのちの伝言(200円)

## 『戦後70年平和を守り・語り継ぐ』(6月20日、21日)

ボランティアグループ紅花の会、NPO法人旧陸軍桶川飛行学校を語り継ぐ会、自治文化課との協働により、さいたま文学館文学ホールで「平成27年度桶川市協働推進提案事業 戦後70年平和を守り・語り継ぐ」を実施しました。

### 内容

6月20日(土)

- 第1部 旧陸軍桶川飛行学校からのメッセージ
- 第2部 昭和の時代を生きた人々の証言  
(桶川市民5人)



6月21日(日)

- 第1部 朗読  
「かわいそうなぞう」  
「東京大空襲」  
「この子を残して」  
「僕は満員電車で  
原爆を浴びた」
- 第2部 映画  
「アオギリにたくして」



## 『ピースキャラバン』

(7月7日、9日)

桶川中学校



桶川東中学校



## 『平和の折鶴』

桶川市老人クラブ連合会女性部  
(愛称：桶川ふれあいクラブ女性部)  
の皆さん



川田つとむの会の皆さん



# 私の戦争体験記

## 今も耳に残る玉音放送



小川 富久さん  
(若宮在住)

市では、「平和を考える10日間」の事業の一環として、過去の悲惨な戦争を振り返り、平和への願いを次の世代に伝えていくことを目的に、昭和62年から「私の戦争体験記」として戦地での体験や戦時中の生活の体験を、市民の皆さんから募集して毎年広報へ掲載してきました。今年度も8月15日の終戦記念日にあわせて戦争体験記のご応募をいただきましたので、紹介します。

市では、「平和を考える10日間」の事業の一環として、過去の悲惨な戦争を振り返り、平和への願いを次の世代に伝えていくことを目的に、昭和62年から「私の戦争体験記」として戦地での体験や戦時中の生活の体験を、市民の皆さんから募集して毎年広報へ掲載してきました。今年度も8月15日の終戦記念日にあわせて戦争体験記のご応募をいただきましたので、紹介します。

しい訓練は今でも忘れられません。兵隊さんたちはみんな子供達には優しく私は何度も頭を撫でられました。演習が休憩に入る前上等兵さんのかけ声ひとつで二、一等兵達が銃の先端の銃剣を頂点として30丁位の銃が傘を広げる様にたてかける様は今だに忘れません。

又、昭和20年8月15日何か重要な発表があると、兄と一緒に小祝神社に行ってみると社務所前に大勢の人達が集まっていました。ラジオ放送は私の耳にはほとんど雑音めいた音でしたが、ハッキリ聞こえたのは耐えがたきを耐え、忍びがたきを忍びというお言葉が今も耳に残っています。玉音放送※でした。

小学校3年生の時ゼロ戦※の絵を画き特質に選ばれ、しばらく廊下に貼り出されていきました。それ以後六三三制度のもと片岡中学に入学し新制度で中学には上級生はいません。高校進学、卒業、社会に出て29才の時あの小祝神社で結婚式を挙げました。

### ※玉音放送

玉音放送とは、天皇陛下の肉声(玉音)を放送すること。1945年8月15日正午の放送は、太平洋戦争における日本の降伏を国民に伝えるものであった。

### ※ゼロ戦(零式艦上戦闘機)

零式艦上戦闘機は、第二次世界大戦期における日本海軍の主力艦上戦闘機。

4月9日、天皇・皇后両陛下は戦後70年「慰霊の旅」としてパラオ諸島のペリリュー島で戦没者を慰霊し、平和の祈りを新たにされました。感慨無量です。私は70年前10才小学校4年生でした。場所は群馬県高崎市立片岡小学校在学中です。「エイ」「ヤー」こんなかけ声で青竹を4〜5メートルに切り先端を鋭利に切り、火で焙り油を塗った竹槍で命ぜられるままに生徒達は「一人一殺」という合言葉のもと突き出した行為の一つでした。私の生家は群馬県高崎市石原町西半田という所です。家の近くに小祝神社があり学校が終わるとこの場所が私にとって遊び場であり、数々の思い出を作った所です。夏はこの神社以外に烏川で泳ぎ釣り等が加わりました。母が手作りしてくれた布のグローブで三角ベースの野球をやったり、メンコ、コマ廻し、紙芝居の見物等です。

小祝神社は反面、軍隊高崎38部隊の演習、仮設基地になったのです。威厳のある将校さん始め多くの兵隊さんの規律正

## 忘れられない4月15日



中村 みきさん  
(川田谷在住)

当時、私は蒲田の矢口ノ渡という所に住んでいて、会社勤めをしていました。昭和19年頃になると戦況が厳しくなり、会社の同僚も柏連隊※に配属になりました。その同僚から「2、3日したら戦地に行くので会いに来てほしい。」と言われ、会社の仲間5人くらいで会いに行きました。そこには、たぐさんのご家族が面会に来ていました。そばにいたお母さんらしき人が息子さんに好きな食べ物を持ってきたのでしょうか。息子さんに渡そうと風呂敷を広げていると、憲兵※が見廻りに来て、その息子さんを連れていってしまいました。ご家族の方は泣いていました。私も泣きました。戦地に行けば帰ってこられるかわからないのに。何で軍隊という所はこんなに厳しいのかなと思いました。

昭和20年に入ると、毎夜のように大空襲がありました。4月15日午後10時頃、空襲警報が鳴り、母と弟と私の3人で庭の防空壕に入りました。父は地域の見廻りに行ってしまい家にはいませんでした。しかし、防空壕の入り口近くに爆弾を落とされ慌てて外に出ると、私の家は火の海になっていました。家から1キロくらい離れたところに多摩川の土手があったので、そこへたぐさんの人たちと逃げま

した。上から爆弾、焼夷弾を落とされ死ぬ思いでした。周りに工場がたくさんあり、その工場を燃やされたため、熱くて多摩川の水に入ったり出たりして明け方4時に空襲警報解除になりました。帰る途中、亡くなった人たちの山ができていました。涙がとまりませんでした。家は焼けてしまいなくなっていました。父とは家があった場所であうことができ、丹庄村(現在の埼玉県児玉郡神川町)の父の実家に行くことになりました。

終戦となり8月20日に、会社の人達と一緒に皇居に行きました。皇居から帰ってくる人達は皆泣いていました。私たちの前に一人軍人さんが座っていました。そのうち、前に倒れたので急いで行ってみると自決していました。皆が何も兵隊さんが悪いわけではないのに何で死んでしまったのと泣きました。中尉さんでした。

幸い、私は空襲で家族を亡くさずすみました。戦争中は怖いことや、悲しいことばかりでした。また、食べ物や衣服をはじめ生活のすべてを制限され、本当に厳しい時代でした。二度と戦争をしないしてほしいと強く願います。

### ※柏連隊

正式には「東京師管区歩兵第二補充隊」。昭和18年に高射砲第二連隊(現在の千葉県柏市)に駐屯。兵士を召集、教育して部隊編成し、戦地に送ることを目的とした。

### ※憲兵

軍事警察をつかさどる兵。また、その兵科。日本では明治14年に創設され、陸軍大臣の管轄に属した。しだいに権限を拡大し、一般民衆の思想取り締まりを主要任務とするようになった。第二次世界大戦後に解体。